

## 3月のコラム ～ゲームの認識が変わりました！～

日頃関わることがないのでゲームの認識は、パズルのようなものか、敵を消していくものという程度でした。NHK クローズアップ現代の「体験が景色を変える～ゲームで学ぶ“世界”～」を見てそれが思い込みであることがわかりました。私の場合、他者の体験や考え方を学ぶ機会は、主に本、映画、漫画等にありますが、でもゲームだともっとリアルに進んだ環境で体験できるのですね。

例えば、性的マイノリティーの友人と温泉旅行に行くゲーム。予約名簿の記載から温泉に入るまでの過程で二人の間にいくつもの迷いや葛藤が起こります。どういう選択をしてもお互いの思いが通じ合うという設定になっているようですが、仮の世界であれ、その立場で対峙してみないとわからないことが体験できるのは大きな学びです。

もう一つ、ウクライナでの戦火を逃れて日本に来られた IT 関係の会社経営をしていた青年。別世界のような穏やかな普通の生活に驚きと安堵を感じますが、彼は、日本での日常を象徴するものとしてコンビニエンスストアの存在に目をつけます。コンビニがどこにもあるのが当たり前私には、なぜこれがゲームになるのか想像もつきません。このゲームでは、コンビニ店員が正しく商品を案内できたらお客さんの生活が豊かになっていきます。逆に間違えた案内をしたり、必要な物が手に入らなかったらお客さんの生活にどんな影響があるかを知ることができます。自分が今この行動をとることが、こう発言することが人にどういった影響を与えるのか、ゲームでそれを知ることができるのです。

ゲームですから、次のチャレンジで自分の対応を変えることで結果は変わるのでしょう。また来店されるお客さんのキャラクター設定を変えるとまた違った結果が出てくるのだと思います。ゲームを通して自分の仕事を持つ価値や喜びを知ることができるかもしれません。

人は、ほぼ自分の体験からくる価値観や視点で物事を捉えます。こういったゲームで色々な職業や多様な立場を経験できると、本を読んで自分の想像の範囲で得られるよりももっと多くの気づきを得られるのだらうと思いました。

また、作り手にしても今までは、自分たちの悩みや社会的な問題、哲学的な問題にペンを執っていました。その代わりにゲームで表現するという表現方法が一つ増えることになるのでしょう。

広告等で目に入ってくるゲームは、相手をどんどん倒していくものが多くて毛嫌いしていたのですが、新しい表現手段、学びのツールになり得るのですね。発見でした！

2023年3月 水田かほる

